



0400  
#206-22-01  
PATENT  
81754.0062

In re application of:

SHIBUSAWA, et al.

Serial No: 09/871,585

Filed: May 30, 2001

For: Web Page Transmission System,  
Web Page Transmission Method  
and Storage Media

Art Unit: Not Assigned

Examiner: Not Assigned

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service with sufficient postage as first class mail in an envelope addressed to:

Assistant Commissioner for Patents  
Washington D.C. 20231, on

July 10, 2001

Date of Deposit

Michael Crapenhof, Reg. No. 37,115

Name

*Michael Crapenhof* July 10, 2001

Signature

Date

**TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

Enclosed herewith is a certified copy of Japanese patent application No. 2000-160624 which was filed May 30, 2000, from which priority is claimed under 35 U.S.C. § 119 and Rule 55.

Acknowledgment of the priority document(s) is respectfully requested to ensure that the subject information appears on the printed patent.

Respectfully submitted,

HOGAN & HARTSON L.L.P.

Date: July 10, 2001

By: *Michael Crapenhof*  
Michael Crapenhof  
Registration No. 37,115  
Attorney for Applicant(s)

500 South Grand Avenue, Suite 1900  
Los Angeles, California 90071  
Telephone: 213-337-6700  
Facsimile: 213-337-6701



日 本 国 特 許 庁

JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 5月30日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-160624

出 願 人

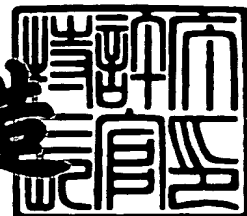
Applicant(s):

セイコーエプソン株式会社

2001年 6月 1日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3051660

【書類名】 特許願

【整理番号】 J0078698

【提出日】 平成12年 5月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/00

【発明者】

    【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 エプソンダイレクト株式会社内

    【氏名】 渋沢 泰夫

【発明者】

    【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 エプソンダイレクト株式会社内

    【氏名】 大島 康弘

【発明者】

    【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

    【氏名】 後藤 恵理子

【発明者】

    【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

    【氏名】 土師 比佐夫

【特許出願人】

    【識別番号】 000002369

    【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

    【代表者】 安川 英昭

【代理人】

    【識別番号】 100093388

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 鈴木 喜三郎

【連絡先】 0266-52-3139

【選任した代理人】

【識別番号】 100095728

【弁理士】

【氏名又は名称】 上柳 雅誉

【選任した代理人】

【識別番号】 100107261

【弁理士】

【氏名又は名称】 須澤 修

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013044

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9711684

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ウェブページ送信システムと送信方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレートと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置と、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、前記ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成するウェブページ生成部と、

生成された前記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供するサーバ部とを備えたことを特徴とするウェブページ送信システム。

【請求項 2】 ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるグループ別のウェブページと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置と、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するウェブページを、前記グループ別ウェブページから選択して、当該ユーザ専用のウェブページとするウェブページ生成部と、

前記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供するサーバ部とを備えたことを特徴とするウェブページ送信システム。

【請求項 3】 ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すグループ別ウェブページテンプレートと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置と、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するグループ別ウェブページテンプレートを、前記記憶装置中から選択し、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、前記グループ別ウェブページテンプレー

トに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成するウェブページ生成部と、

生成された前記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供するサーバ部とを備えたことを特徴とするウェブページ送信システム。

【請求項 4】 閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレートと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶装置に記憶しておき、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、前記ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成し、

生成された前記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供することを特徴とするウェブページ送信方法。

【請求項 5】 ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるグループ別のウェブページと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶装置に記憶しておき、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するウェブページを、前記グループ別ウェブページから選択し、

前記選択したグループ別ウェブページを当該ユーザに提供することを特徴とするウェブページ送信方法。

【請求項 6】 ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すグループ別ウェブページテンプレートと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶装置に記憶して、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するグループ別ウェブページテンプレートを、前記記憶装置中から選択し、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、前記グループ別ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成し、

生成された前記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供することを特徴とするウェブページ送信方法。

【請求項 7】 閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレートと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置をアクセスして、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、前記ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成する処理と、

生成された前記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供する処理とを実行するコンピュータプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 8】 ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるグループ別のウェブページと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置をアクセスして、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するウェブページを、前記グループ別ウェブページから選択する処理と、

前記選択したグループ別ウェブページを当該ユーザに提供する処理とを実行するコンピュータプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 9】 ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すグループ別ウェブページテンプレートと、前記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置をアクセスして、

前記登録されたユーザから前記ウェブページの閲覧要求があったとき、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するグループ別ウェブページテンプレートを、前記記憶装置中から選択し、前記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、前記グループ別ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成する処理と、

生成された前記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供する処理とを実行するコンピュータプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを通じてユーザ毎にユーザ専用のウェブページを提供する場合に適するウェブページ送信システムと送信方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

インターネット等のネットワークでは、ウェブページにより様々な情報を公開している。このウェブページの中には、だれでも自由に閲覧をすることができるページと、特定のユーザのみが閲覧できるページとが含まれている。サーバでは、特定のユーザのみが閲覧できるウェブページの閲覧要求があった場合には、ユーザにユーザコードとパスワードの入力を要求し、入力されたユーザコードとパスワードがサーバ側に登録されたものであった場合に、該当するウェブページの閲覧を許可するようにしている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、上記のような従来の技術には、次のような解決すべき課題があった。

サーバ側で提供するウェブページには、全てのユーザに共通なものと、ユーザごとに異なるものとがある。例えば、顧客に商品の見積もり用のウェブページを提供する場合に、同一商品について顧客毎に異なる仕切価格を設定することがある。例えば、顧客Aには仕切り価格を10000円に設定し、顧客Bには仕切価格を9500円に設定する。こうした場合にサーバでは、ユーザ毎の専用ウェブページを用意して、それぞれのウェブページを記憶装置に記憶しておく。ユーザの認証が終わると、ユーザコードをキーとし記憶装置から該当するユーザ専用ウェブページを取り出して閲覧を許可する。



## 【 0 0 0 4 】

しかしながら、ユーザ数が増加するとユーザ専用ウェブページが増大する。ユーザ専用ウェブページを記憶する記憶装置の記憶容量もユーザの増大とともに限りなく増やさなければならぬという問題が生じる。また、ウェブページに含まれている情報に変更があると、全てのユーザ専用ウェブページを個別に訂正する作業が要求され、ユーザ専用のウェブページ量の増加により、こうしたメンテナンスのための負荷も増大するという問題があった。

## 【 0 0 0 5 】

## 【課題を解決するための手段】

本発明は以上の点を解決するため次の構成を採用する。

## 【 0 0 0 6 】

## 〈構成 1〉

閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレートと、上記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置と、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、上記ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成するウェブページ生成部と、生成された上記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供するサーバ部とを備えたことを特徴とするウェブページ送信システム。

## 【 0 0 0 7 】

いずれのユーザに提供されるウェブページも、基本構造は共通である。ユーザは、専用のウェブページの提供を受けるために、サーバに予め登録されている。ユーザ専用ウェブページは、登録されたユーザからウェブページの閲覧要求があったときに、そのつどウェブページテンプレートから生成される。ユーザ固有の情報は、登録ユーザ情報から直接取得してもよいし、他のデータファイルを介して間接的に取得してもよい。記憶装置には、常時、ウェブページテンプレートを記憶しておけばよく、ユーザ専用ウェブページを記憶する必要はない。

## 【 0 0 0 8 】

## 〈構成 2〉

ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるグループ別のウェブページと、上記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置と、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するウェブページを、上記グループ別ウェブページから選択して、当該ユーザ専用のウェブページとするウェブページ生成部と、上記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供するサーバ部とを備えたことを特徴とするウェブページ送信システム。

## 【0009】

この例では、同一グループのユーザはユーザ固有の情報が同一である。ウェブページはグループの数だけ記憶装置に記憶されている。ウェブページ生成部は、記憶装置から該当するグループのウェブページを選択してそれをそのままユーザ専用ウェブページにする。

## 【0010】

## 〈構成 3〉

ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すグループ別ウェブページテンプレートと、上記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置と、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するグループ別ウェブページテンプレートを、上記記憶装置中から選択し、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、上記グループ別ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成するウェブページ生成部と、生成された上記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供するサーバ部とを備えたことを特徴とするウェブページ送信システム。

## 【0011】

この例では、グループ別ウェブページテンプレートをグループの数だけ記憶装置に記憶する。ウェブページ生成部は、ユーザの閲覧要求があると、そのユーザ

のグループ別ウェブページテンプレートを選択し、ユーザ固有の情報を付加してユーザ専用ウェブページを生成する。故に、記憶装置には、グループの数だけウェブページテンプレートを記憶すればよい。

【 0 0 1 2 】

〈構成 4〉

閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレートと、上記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶装置に記憶しておき、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、上記ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成し、生成された上記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供することを特徴とするウェブページ送信方法。

【 0 0 1 3 】

構成 1 のシステムによるウェブページの送信方法に関する。

【 0 0 1 4 】

〈構成 5〉

ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるグループ別のウェブページと、上記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶装置に記憶しておき、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するウェブページを、上記グループ別ウェブページから選択し、上記選択したグループ別ウェブページを当該ユーザに提供することを特徴とするウェブページ送信方法。

【 0 0 1 5 】

構成 2 のシステムによるウェブページの送信方法に関する。

【 0 0 1 6 】

〈構成 6〉

ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すグループ別ウェブページテンプレートと、上記ウエ

ブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶装置に記憶して、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するグループ別ウェブページテンプレートを、上記記憶装置中から選択し、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、上記グループ別ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成し、生成された上記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供することを特徴とするウェブページ送信方法。

【 0 0 1 7 】

構成 3 のシステムによるウェブページの送信方法に関する。

【 0 0 1 8 】

〈構成 7〉

閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレートと、上記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置をアクセスして、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、上記ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成する処理と、生成された上記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供する処理とを実行するコンピュータプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【 0 0 1 9 】

構成 4 の方法を実行するコンピュータプログラムに関する。

【 0 0 2 0 】

〈構成 8〉

ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるグループ別のウェブページと、上記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置をアクセスして、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するウェブページを、上記グ

グループ別ウェブページから選択する処理と、上記選択したグループ別ウェブページを当該ユーザに提供する処理とを実行するコンピュータプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【0021】

構成5の方法を実行するコンピュータプログラムに関する。

【0022】

〈構成9〉

ユーザ固有の情報が複数種類のグループに分類されるとき、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すグループ別ウェブページテンプレートと、上記ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報とを記憶した記憶装置をアクセスして、上記登録されたユーザから上記ウェブページの閲覧要求があったとき、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を表示するグループ別ウェブページテンプレートを、上記記憶装置中から選択し、上記登録ユーザ情報を参照して取得されるユーザ固有の情報を、上記グループ別ウェブページテンプレートに組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成する処理と、生成された上記ユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供する処理とを実行するコンピュータプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【0023】

構成6の方法を実行するコンピュータプログラムに関する。

【0024】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を具体例を用いて説明する。

この発明は、対象となるウェブページの基本構造が共通であっても、ユーザ毎にそれぞれ異なる固有の情報が含まれるようなウェブページを、サーバからユーザ側に送信する場合に利用される。例えば、ユーザ毎に異なる仕切り価格で商品を販売する場合に、その商品の仕切り価格を含むユーザ専用ウェブページを各ユーザが閲覧する場合を考える。この場合に、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレートを記憶装置に記憶しておく。このウェブペ

ージテンプレートが、ユーザへ送信される際にそのユーザ専用に編集される。

【0025】

〈具体例1〉

図1は、具体例1のウェブページ送信システムを示すブロック図である。

図のウェブページ送信システム1は、ネットワーク2を介してユーザの端末3と接続されている。このネットワークを通じてサーバ4がユーザの要求するウェブページを送信し、その閲覧を許可する。

【0026】

サーバ4は、図に示したように、記憶装置5とウェブページ生成部6とサーバ部7を備える。記憶装置5は、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレート11と、ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報12とを記憶するメモリである。ウェブページ生成部6は、ユーザの端末3からウェブページの閲覧要求があったとき、登録ユーザ情報12を参照して、この登録ユーザ情報12中に含まれるユーザ固有の情報を、ウェブページテンプレート11に組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成する機能を持つ。これは、例えばサーバ4の実行するコンピュータプログラム等により実現する。

【0027】

サーバ部7は、ネットワーク2と接続されて通信を制御し、生成されたユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供する機能を持つ。これは、通信制御装置等のネットワークインタフェースにより構成される。ウェブページテンプレートは、全てのウェブページに共通な部分だけを記述したHTML (Hypertext Markup Language) データである。登録ユーザ情報12には、例えば、ユーザ名、ユーザの住所、電話番号、FAX番号、ユーザコード、パスワード、及び、ユーザに設定された仕切価格のランクを示すランク情報が含まれる。なお、このランク情報と仕切価格との関係を示すために記憶装置5には、仕切り価格テーブル13というデータファイルが記憶されている。

【0028】

例えば、次のように、5つのランクに分けられた仕切り価格があるとする。

- (1) ランク R 1 は 1 0 0 0 0 円
- (2) ランク R 2 は 9 5 0 0 円
- (3) ランク R 3 は 9 0 0 0 円
- (4) ランク R 4 は 8 5 0 0 円
- (5) ランク R 5 は 8 0 0 0 円

一方、ユーザが例えば T 1, T 2, T 3, T 4, T 5, T 6, T 7, T 8, T 9, T 1 0 の 1 0 人あるとする。

各ユーザには、それぞれ下記のように仕切り価格が設定されている。

- (1) ユーザ T 1 はランク R 1
- (2) ユーザ T 2、T 3 はランク R 2
- (3) ユーザ T 4、T 5、T 6 はランク R 3
- (4) ユーザ T 7、T 8、T 9 はランク R 4
- (5) ユーザ T 1 0 はランク R 5

従来は、1 0 人のユーザがいれば、1 0 人分のユーザ専用ウェブページをそれぞれ用意して、記憶装置に記憶しておく。いずれかのユーザからユーザ専用のウェブページの閲覧要求があったときには、該当するウェブページを検索してそのユーザに送信する。しかしながら、ユーザの数が 5 0 人になればユーザ専用ウェブページが 5 0 ページ、1 0 0 人になれば 1 0 0 ページを常に記憶装置に記憶しておかなければならない。

この発明では、1 0 人のユーザ T 1 ~ T 1 0 の登録ユーザ情報中に、各ユーザに設定された仕切り価格のランクを示すランク情報を含める。例えばユーザ T 1 のランク情報は R 1、ユーザ T 3 のランク情報は R 2 である。

#### 【 0 0 2 9 】

図 2 は、ウェブページテンプレートからユーザ専用ウェブページを生成する過程を示す説明図である。

この図を用いて、ウェブページテンプレート 1 1 とユーザ専用ウェブページ 1 8 と登録ユーザ情報 1 2 と仕切り価格テーブル 1 3 との関係を説明する。まず、ユーザから閲覧要求があったときは、そのユーザのユーザコード 1 5 を取得する。そして、このユーザコード 1 5 を使用して、登録ユーザ情報 1 2 中のランク情

報 1 6 を得る。

【 0 0 3 0 】

次に、仕切り価格テーブル 1 3 を使用して、ランク情報 1 6 に対応する仕切り価格を得る。以上の情報を使用して、上記ウェブページテンプレート 1 1 を加工する。その結果、ユーザ専用ウェブページ 1 8 に、例えば、ユーザ名、ユーザコード、ユーザごとに決められた仕切り価格とが含まれる。

【 0 0 3 1 】

図 3 は、ユーザがユーザ専用ウェブページの閲覧を要求してからユーザにユーザ専用ウェブページが送信されるまでの動作を示すフローチャートである。また、図 4 は、ユーザ認証用ウェブページの例を示す説明図である。

なお、ステップ S 1 とステップ S 2 とは、ユーザの端末 3 における処理であり、ステップ S 3 以下はサーバにおける処理を示す。まず、ステップ S 1 で、ユーザは、ユーザの端末 3 (図 1) のブラウザを操作して、ユーザ認証用ウェブページ 2 1 (図 4) を開く。ステップ S 2 で、ユーザは、そのユーザ認証用ウェブページ 2 1 にユーザコード 2 2 とパスワード 2 3 とを入力する。このように、ユーザ認証用ウェブページ 2 1 はユーザを限定してウェブページの閲覧を許可するためのページで、ユーザコード 2 2 とパスワード 2 3 とを入力するテキストボックスと閲覧ボタン 2 4 を備えたものである。

【 0 0 3 2 】

ユーザは、ユーザ認証用ウェブページ 2 1 に含まれたユーザ専用ウェブページの閲覧ボタン 2 4 をクリックする。図 3 のステップ S 3 では、サーバ部 7 (図 1) でユーザの認証を実行する。ユーザの認証が終わるとユーザ専用ウェブページ 1 8 (図 2) の生成処理が開始される。ステップ S 4 で、入力されたユーザコード 1 5 をキーとして登録ユーザ情報 1 2 を参照する。こうして、そのユーザのランク情報 1 6 を読みだす。ステップ S 5 で、ランク情報 1 6 をキーにして仕切り価格テーブル 1 3 中の該当する仕切価格の情報を読みだす。ユーザ T 3 はランク R 2 だから、仕切価格は 9 5 0 0 円というように情報が読みだされる。

【 0 0 3 3 】

ステップ S 6 で、ウェブページテンプレート 1 1 を読みだして、ユーザ名や仕



切価格を組み込む。例えば、ウェブページテンプレート 1 1 には、予め仕切り価格やユーザの名称等を記入する場所にその場所を特定する記号を入れておく。ウェブページテンプレートの編集時には、その記号をウェブページテンプレート上で検索して、対応するユーザ固有のデータに置き換える。これで、ウェブページテンプレートをユーザ専用ウェブページに変換できる。ステップ S 7 では、生成したユーザ専用ウェブページ 1 8 をユーザの端末 3 に送信する。

#### 【 0 0 3 4 】

以上のように、この例の場合には、見積もり用のウェブページテンプレートを 1 つ用意しておき、ユーザからユーザ専用ウェブページの閲覧要求があると、ユーザ情報やユーザのランク情報を調べて取得したユーザ固有の情報を、ウェブページテンプレートに組み込んでユーザ専用ウェブページを生成するので、記憶装置に記憶しておくデータ量が最少限度で良いという効果がある。

#### 【 0 0 3 5 】

##### 〈具体例 2〉

図 5 は、具体例 2 のシステムの動作の概略説明図である。

この例では、仕切り価格の種類だけのランク別ウェブページ 2 5 を記憶装置 5 に記憶しておく。

記憶装置 5 に記憶しておくウェブページは次の 5 種類である。

- (1) ランク R 1 用ウェブページ
- (2) ランク R 2 用ウェブページ
- (3) ランク R 3 用ウェブページ
- (4) ランク R 4 用ウェブページ
- (5) ランク R 5 用ウェブページ

なお、他のシステム構成は図 1 の例と同様である。図 5 において、ユーザから閲覧要求があったときは、そのユーザのユーザコード 1 5 を取得する。そして、このユーザコード 1 5 を使用して、登録ユーザ情報 1 2 中のランク情報 1 6 を得る。次に、このランク情報 1 6 を使用して該当する仕切り価格を表示したランク別ウェブページ 2 5 を記憶装置 5 から取り出す。サーバは、このウェブページを加工せずにそのままユーザに送信する。

## 【 0 0 3 6 】

図 6 は、ユーザがユーザ専用ウェブページの閲覧を要求してからユーザにユーザ専用ウェブページが送信されるまでの動作を示すフローチャートである。

この図のステップ S 1 からステップ S 4 までは、図 3 に示したフローチャートと同一の処理を実行する。ステップ S 5 以下が異なる。ステップ S 5 では、ランク情報 1 6 を使用して該当するランク別ウェブページ 2 5 を記憶装置 5 から取り出す。ステップ S 6 でそのウェブページをユーザの端末に送信する。

## 【 0 0 3 7 】

この場合、ユーザ専用ウェブページといっても、ユーザ名等の情報はウェブページ中に含まれない。即ち、同一ランクのユーザは、全て同一のウェブページを参照する。ランクを例にして説明をしたが、ユーザ固有の情報が何種類かのグループに分類できれば、グループ別ウェブページを記憶することで、上記の目的が達成される。この方法は、ウェブページの加工処理が不要なので、サーバの負荷が最も軽くなるという効果がある。また、仕切り価格の種類はユーザの数に比べて十分に少ないし、急激に増加することも少ないから記憶しておくウェブページ数が少なく済むという効果がある。

## 【 0 0 3 8 】

## 〈 具体例 3 〉

図 7 は、具体例 3 のシステムの動作の概略説明図である。

この例は、具体例 1 と具体例 2 とを組み合わせたものである。この例でも、図 5 に示した具体例 2 と同様に、仕切り価格の種類だけのランク別ウェブページテンプレート 2 8 を記憶装置 5 に記憶しておく。

記憶装置 5 に記憶しておくウェブページは次の 5 種類である。

ランク R 1 用ウェブページテンプレート

ランク R 2 用ウェブページテンプレート

ランク R 3 用ウェブページテンプレート

ランク R 4 用ウェブページテンプレート

ランク R 5 用ウェブページテンプレート

ユーザから閲覧要求があったときは、そのユーザのユーザコード 1 5 を取得す

る。そして、このユーザコードを使用して、登録ユーザ情報 1 2 中のランク情報 1 6 を得る。そして、そのランク情報を使用して、該当する仕切り価格を表示したランク別ウェブページテンプレート 2 8 を記憶装置 5 から取り出す。サーバは、登録ユーザ情報 1 2 を参照して、そのランク別ウェブページテンプレート 2 8 に、ユーザ名等のユーザ固有の情報を組み込む処理をしてからユーザに送信する。

#### 【 0 0 3 9 】

図 8 は、ユーザがユーザ専用ウェブページの閲覧を要求してからユーザにユーザ専用ウェブページが送信されるまでの動作を示すフローチャートである。

この図のステップ S 1 からステップ S 5 までは、図 6 に示したフローチャートと同一の処理を実行する。ステップ S 5 では、ランク情報 1 6 を使用して該当するランク別ウェブページテンプレート 2 8 を記憶装置 5 から取り出す。ステップ S 6 で、このランク別ウェブページテンプレート 2 8 にユーザ固有の情報例えば、ユーザ名等を組み込む。その後ステップ S 7 でそのウェブページをユーザの端末に送信する。

#### 【 0 0 4 0 】

以上のように、この具体例では、仕切り価格の種類だけウェブページテンプレートを記憶しておき、ウェブページテンプレートにユーザ固有の情報を付加する簡単な処理を実行するだけで、ユーザ専用ウェブページが出来上がるので、記憶しておくべきデータ量は具体例 2 の場合と同様に少なく、ウェブページテンプレートの加工処理も簡単で良いという効果がある。

#### 【 0 0 4 1 】

本発明は、上記の例に限定されない。

ユーザは、ウェブページを閲覧して利用するものであればよい。例えば、そのウェブページを利用して商品の購入を行う顧客や得意先であったり、顧客等ではなく、単にそのウェブページを利用して情報の提供を受けるものであってもよい。ウェブページは、様々な情報を開示した任意の形式のデータであればよく、その内容もデータ構造も任意である。

#### 【 0 0 4 2 】

また、個々の商品毎の仕切り価格の情報を有する（ランク別）仕切り価格テー

ブルを備える代わりに、個々の商品毎の割引率の情報を有する（ランク別）割引率テーブルを備えるようにしてもよい。この場合、個々の商品をいくつかのグループにグルーピングし、それらのグループ毎に（ランク別）割引率を設定することもできる。また、同じランクであれば、全ての商品に対して同じ割引率を設定することもできる。

#### 【 0 0 4 3 】

なお、上記の具体例で使用するコンピュータは、記憶装置に記憶されたプログラムをプロセッサが実行する既知の構成のハードウェアを備えるが、その構成は明らかなため、本発明の説明に必要な機能ブロックを主体にして図解をし、ハードウェア細部の説明は省略した。図に示した各機能ブロックは、それぞれ独立のプログラムモジュールにより構成してもよいし、一体化したプログラムモジュールにより構成してもよい。また、これらの機能ブロックの全部または一部を論理回路によるハードウェアで構成しても構わない。また、各プログラムモジュールは、既存のアプリケーションプログラムに組み込んで動作させてもよいし、独立のプログラムとして動作させてもよい。

#### 【 0 0 4 4 】

また、本発明は、上記の各プログラムモジュールをコンピュータにインストールすることにより実施できる。これらのプログラムモジュールはいずれも、例えばCD-ROMのようなコンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録して、コンピュータにインストールすることができるほか、ネットワークを通じてコンピュータのメモリ中にダウンロードすることもできる。また、本発明を実施するためのプログラムは、1台のコンピュータに実行させるほか、複数台のコンピュータの分散処理によって実行させてもよい。

#### 【 0 0 4 5 】

##### 【発明の効果】

上記のように、ユーザ専用のウェブページをウェブページテンプレート等を利用して生成すれば、サーバにウェブページを記憶しておく記憶領域が節約できる。また、記憶したウェブページ数が少ないので、これらのウェブページのメンテナンスも容易になるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

具体例 1 のウェブページ送信システムを示すブロック図である。

【図 2】

ウェブページテンプレートからユーザ専用ウェブページを生成する過程を示す説明図である。

【図 3】

具体例 1 で、ユーザがユーザ専用ウェブページの閲覧を要求してからユーザにユーザ専用ウェブページが送信されるまでの動作を示すフローチャートである。

【図 4】

ユーザ認証用ウェブページの例を示す説明図である。

【図 5】

具体例 2 のシステムの動作の概略説明図である。

【図 6】

具体例 2 で、ユーザがユーザ専用ウェブページの閲覧を要求してからユーザにユーザ専用ウェブページが送信されるまでの動作を示すフローチャートである。

【図 7】

具体例 3 のシステムの動作の概略説明図である。

【図 8】

具体例 3 で、ユーザがユーザ専用ウェブページの閲覧を要求してからユーザにユーザ専用ウェブページが送信されるまでの動作を示すフローチャートである。

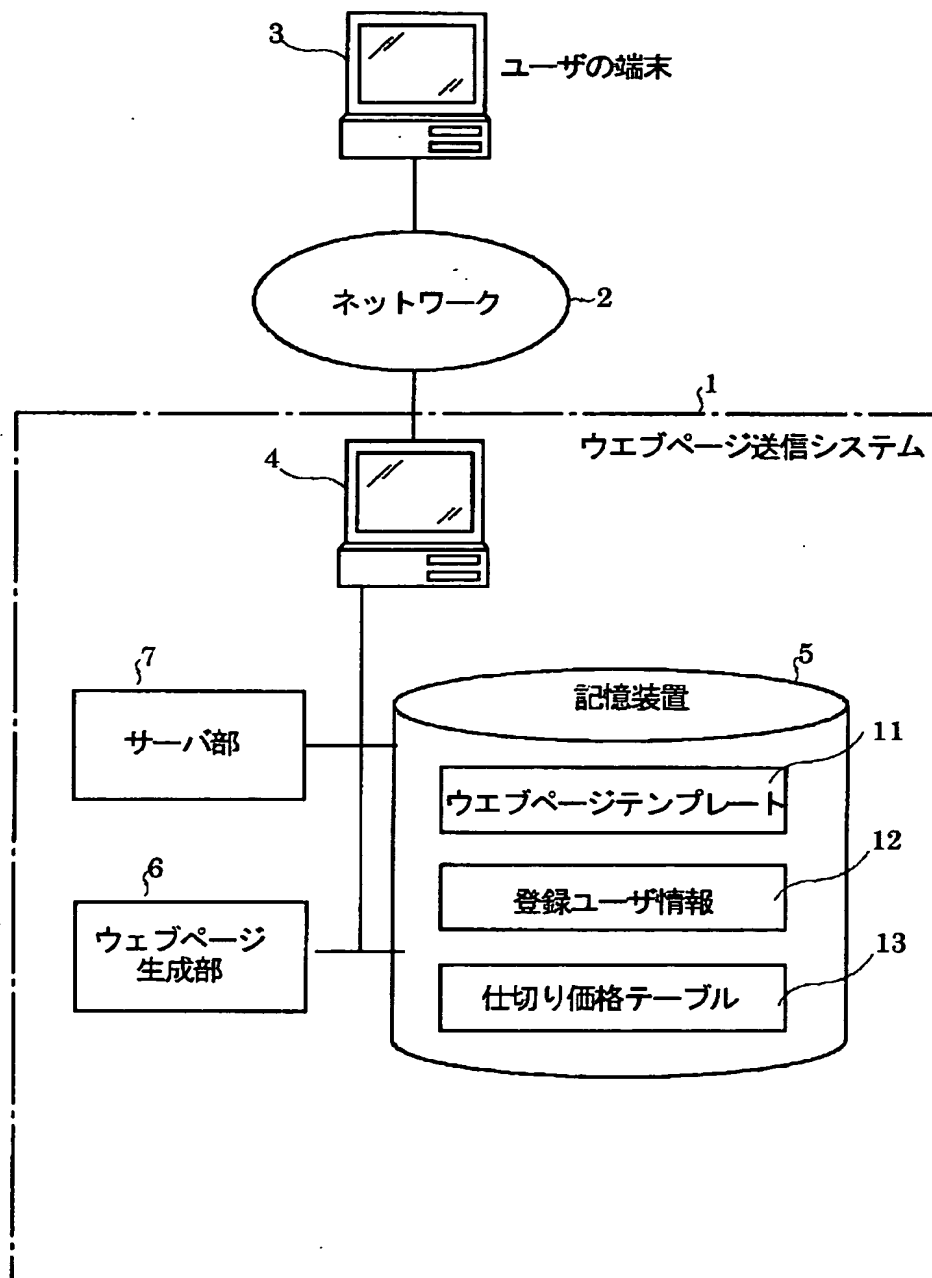
【符号の説明】

- 1 ウェブページ送信システム
- 2 ネットワーク
- 3 ユーザの端末
- 4 サーバ
- 5 記憶装置
- 6 ウェブページ生成部
- 7 サーバ部

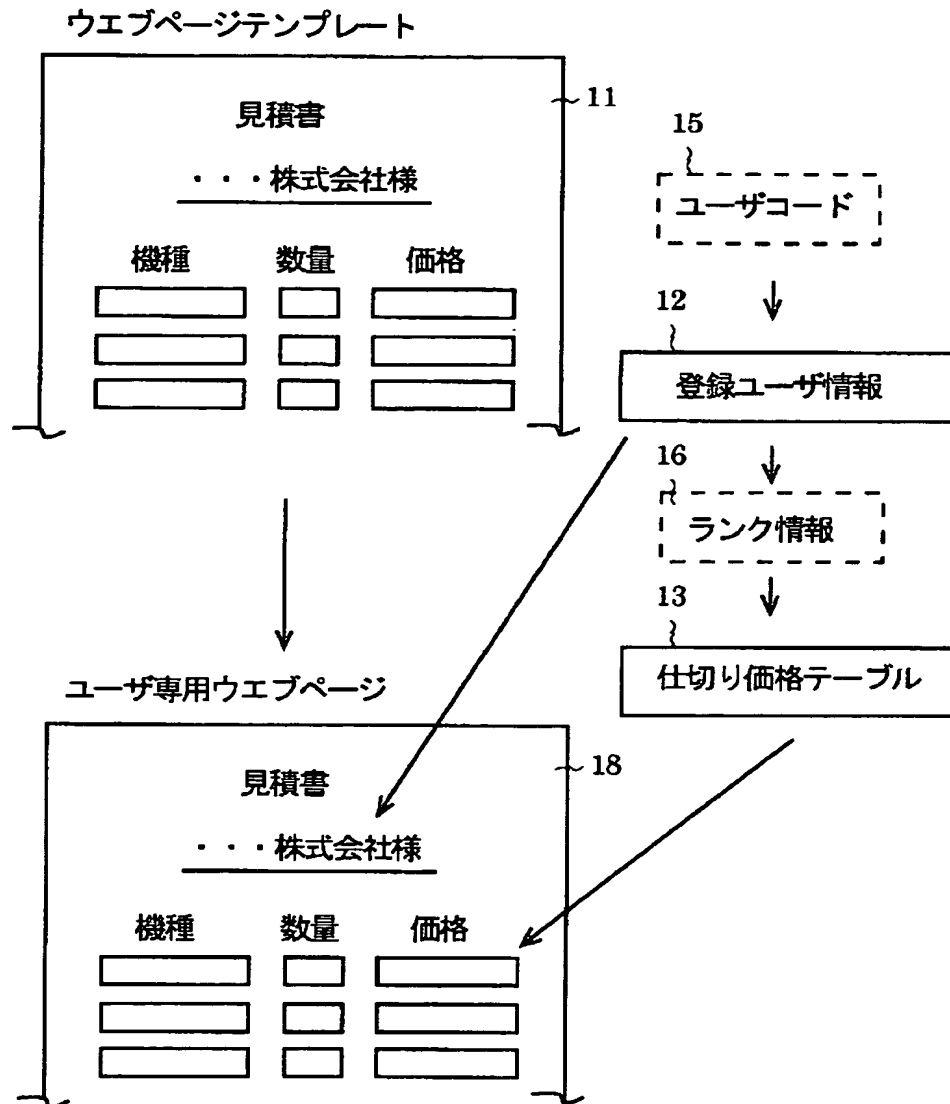
- 1 1 ウェブページテンプレート
- 1 2 登録ユーザ情報
- 1 3 仕切価格テーブル

【書類名】 図面

【図 1】

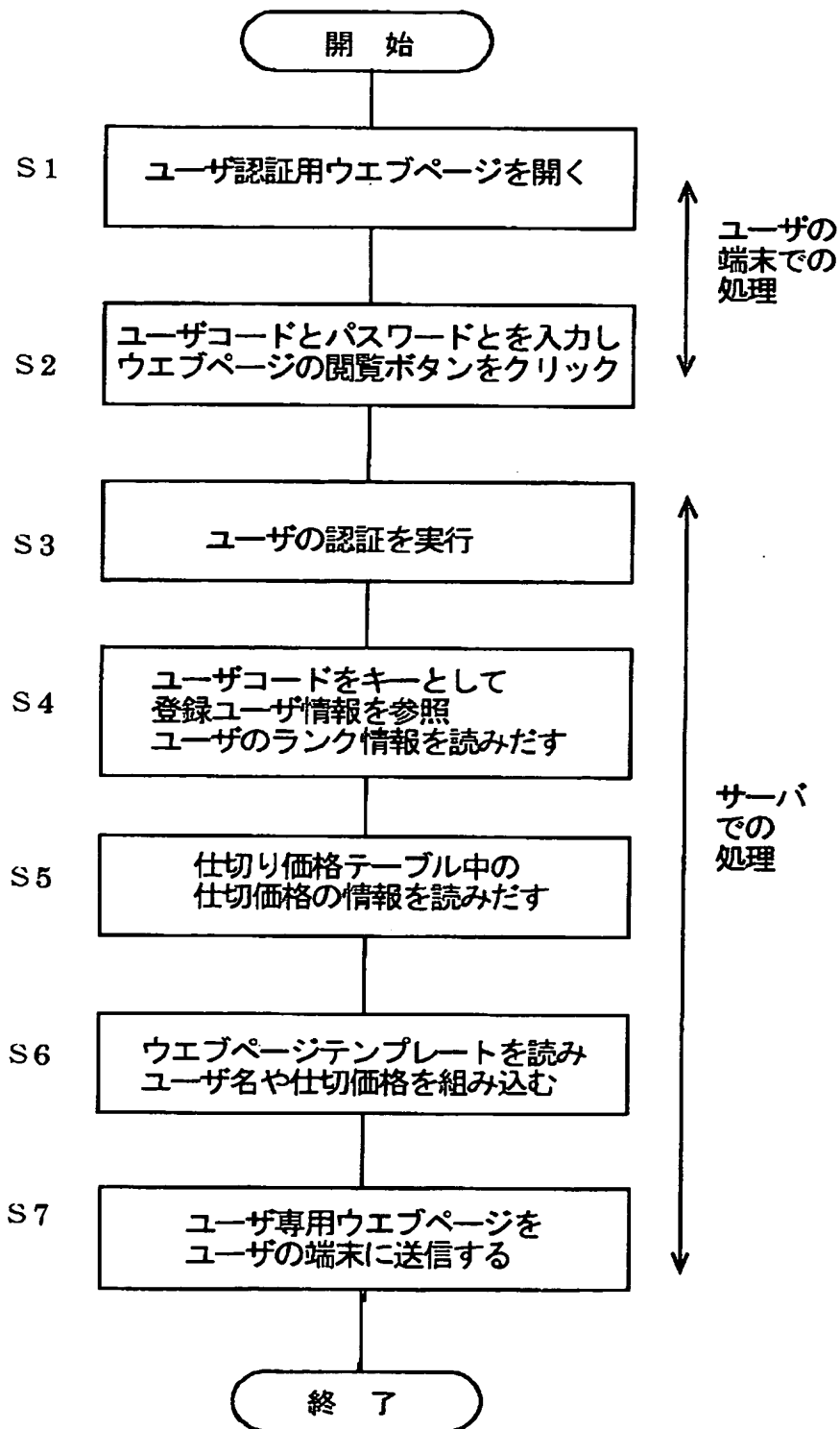


【図 2】

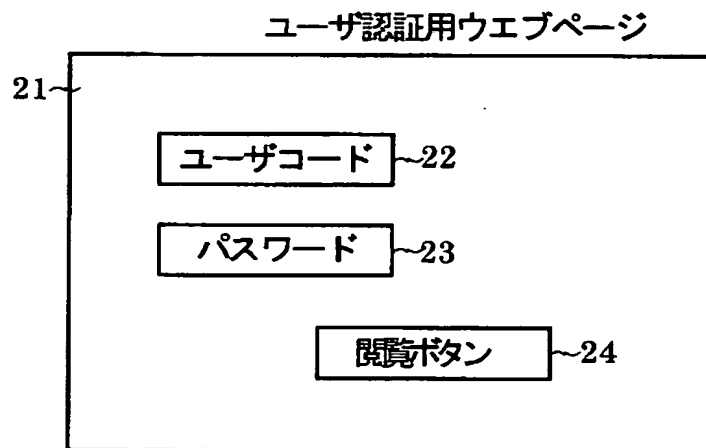




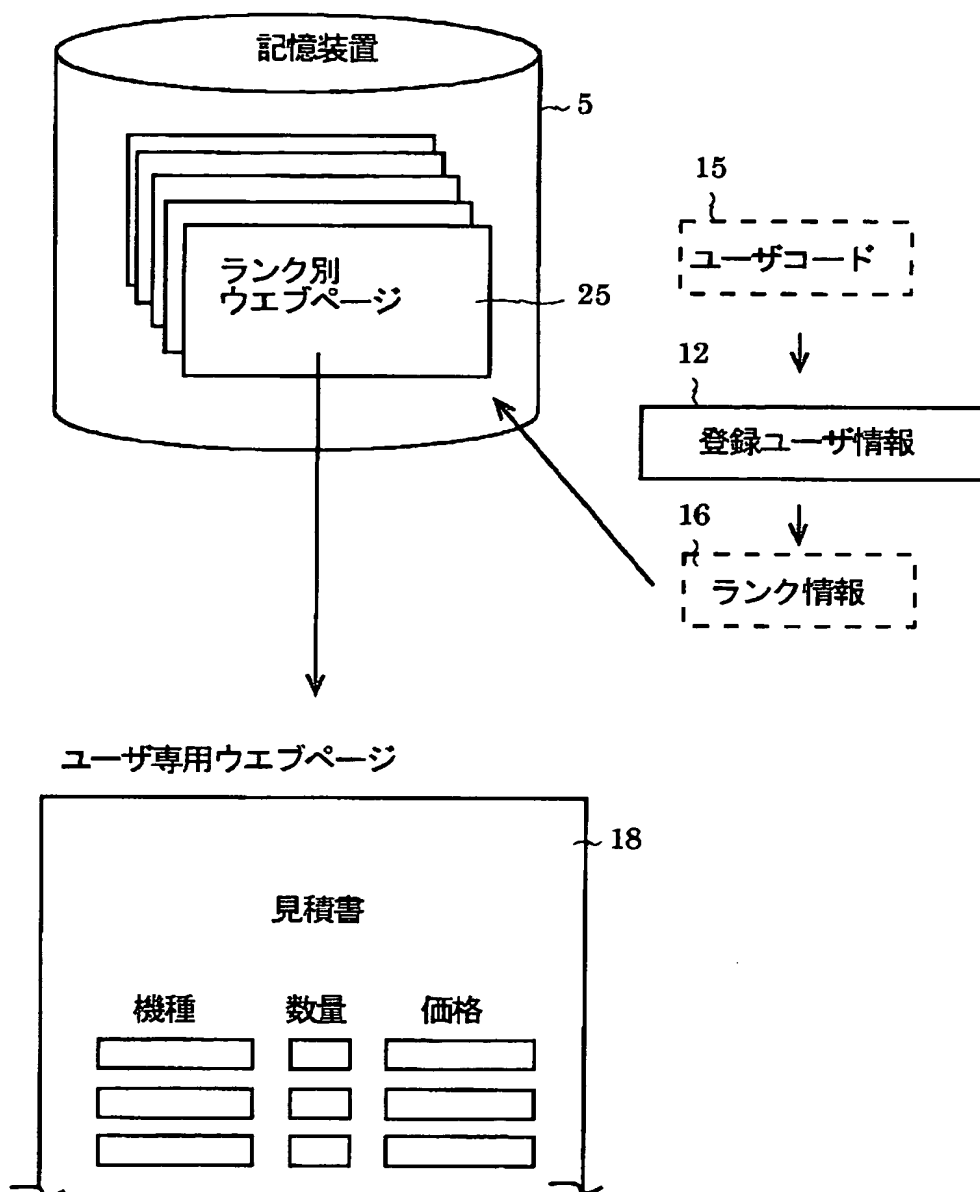
【図 3】



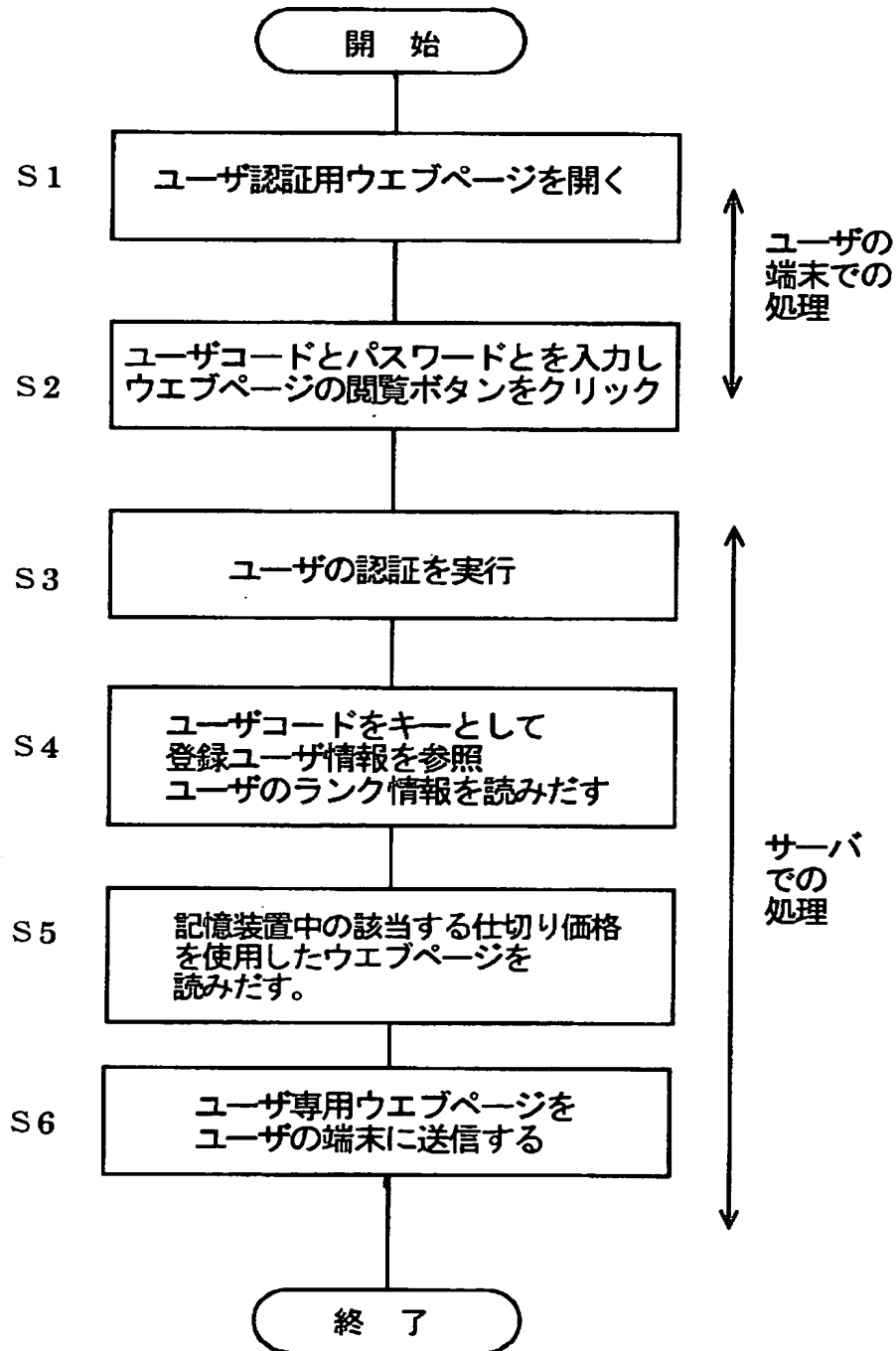
【図 4】



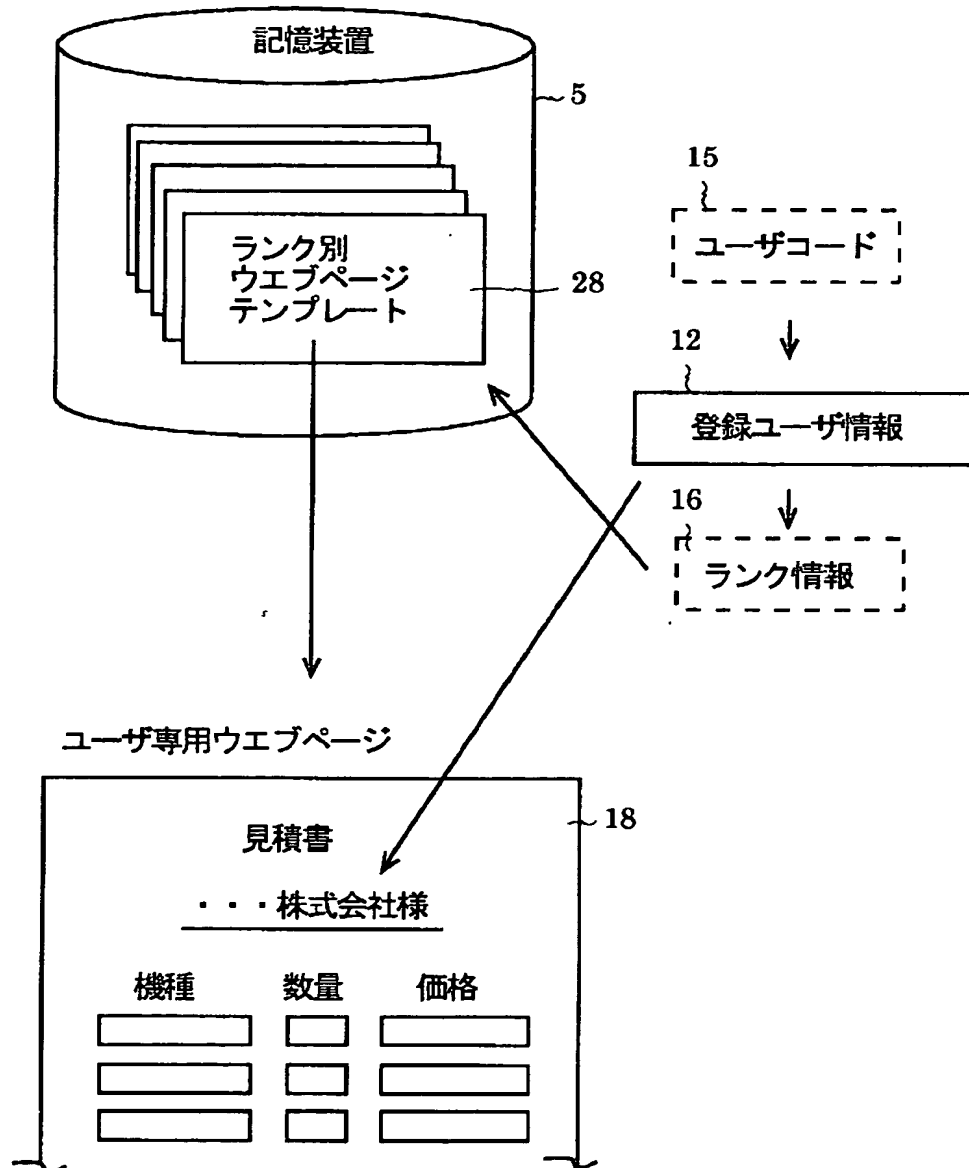
【図 5】



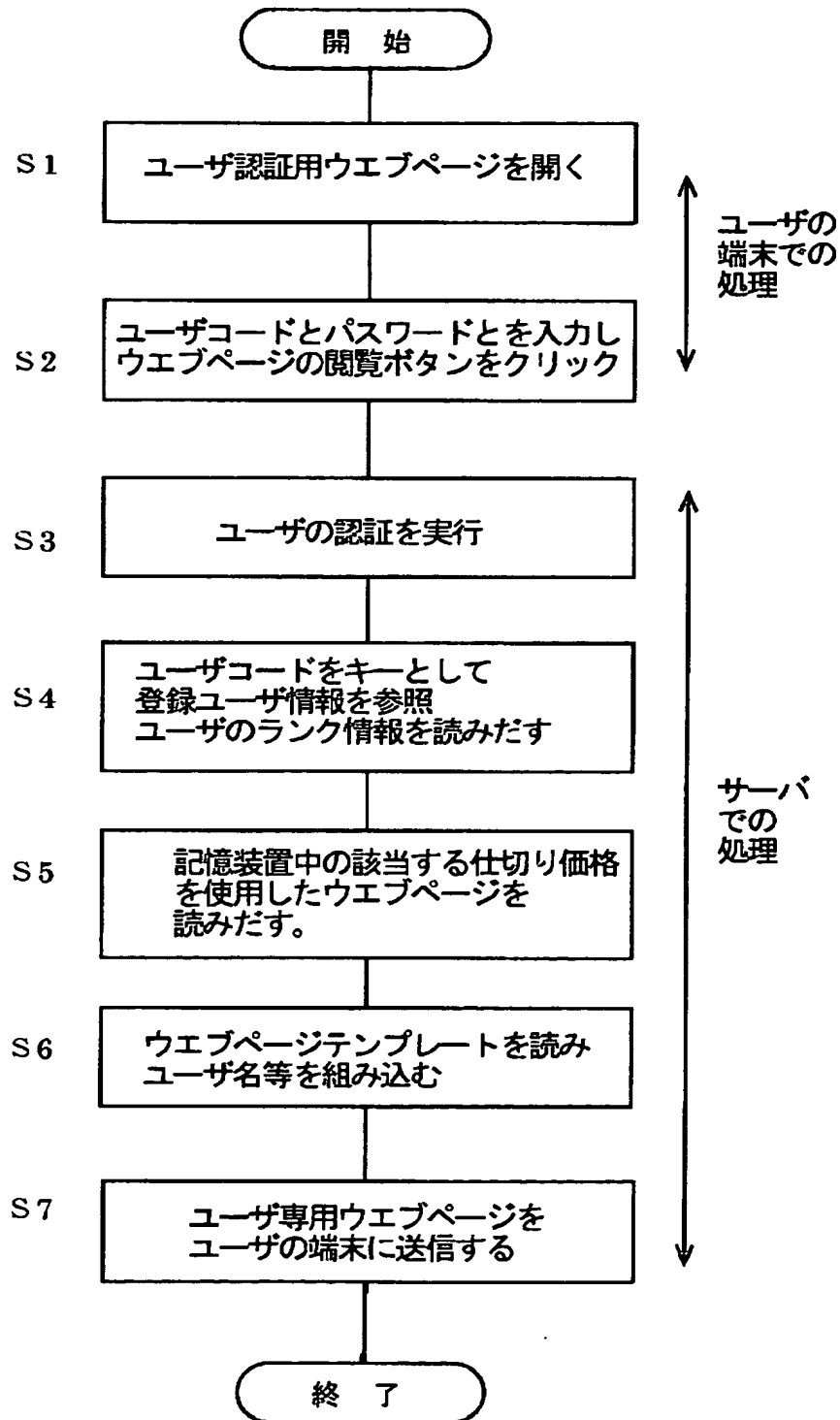
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】            要約書

【要約】

【解決手段】    記憶装置 5 は、閲覧対象となるウェブページの基本構造を示すウェブページテンプレート 1 1 と、ウェブページの閲覧をする登録されたユーザに関する情報を含む登録ユーザ情報 1 2 とを記憶する。ウェブページ生成部 6 は、ユーザからウェブページの閲覧要求があったとき、登録ユーザ情報 1 2 を参照して取得されるユーザ固有の情報を、ウェブページテンプレート 1 1 に組み込んで、当該ユーザ専用のウェブページを生成する。サーバ部 7 は、生成されたユーザ専用のウェブページを当該ユーザに提供する。

【効果】    サーバにウェブページを記憶しておく記憶領域が節約できる。また、記憶したウェブページ数が少ないので、これらのウェブページのメンテナンスも容易になる。

【選択図】            図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002369]

1. 変更年月日 1990年 8月20日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号  
氏 名 セイコーエプソン株式会社